

中小企業・SDGs ビジネス支援事業 ニーズ確認調査 審査基準

大項目	中項目	評価のポイント
1. 提案製品・技術・サービスの概要 (20点)	<ul style="list-style-type: none"> 製品/サービスの独自性・優位性 販売実績 	<ul style="list-style-type: none"> 製品/サービスは独自性、比較優位性があるか 製品/サービスは、国内外での販売実績があるか(※)
2. ビジネスの概要 (11点)	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスモデルの具体性 リスクと対応策 	<ul style="list-style-type: none"> お金の流れとサービスの流れがビジネスモデル上明確か リスクが認識され、対策が検討されているか
3. ターゲット市場、顧客課題解決 (23点)	<ul style="list-style-type: none"> 対象国選定の理由 ターゲット顧客 ニーズの確からしさ 市場規模 	<ul style="list-style-type: none"> 対象国選定の理由は明確か ターゲット顧客は明確か/選定理由は妥当か、顧客の直面する問題を理解しているか、製品/サービスは、顧客の問題を解決し得るか 一定の市場規模があるか
4. 調査・実証計画の妥当性 (10点)	<ul style="list-style-type: none"> 応募前の準備状況 目標設定・検証計画の妥当性 	<ul style="list-style-type: none"> 事前調査、もしくは、人的または資金的先行投資を伴う準備がなされているか 調査完了時になっていたい状態(ゴール)は明確か、調目的及び調査・実証項目は明確か
5. 対象国の社会・経済への貢献可能性 (15点)	<ul style="list-style-type: none"> SDGs等への合致度 裨益者への便益 多様性への配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 提案ビジネスはSDGsの達成に貢献し得るか、グローバルアジェンダへの合致度(加点要素) どのような裨益者に、どのような便益をもたらすことを目指しているか ジェンダー平等、障がい者、高齢者等のインクルージョンに資するか
6. 企業としての体制・方針 (12点)	<ul style="list-style-type: none"> 経営戦略上の海外展開の位置づけ 人員体制 財務基盤 	<ul style="list-style-type: none"> 提案ビジネスの経営戦略上の位置づけ及び本業との関連が明確か 海外展開を担う人員が配置されているか。調査主任者は海外での業務展開経験を有するか。対象国使用言語での発表が可能か 提案法人は海外展開し得る財務基盤を有するか、地域金融機関連携(加点要素)
7. 制度利用の必要性・妥当性 (9点)	<ul style="list-style-type: none"> 制度利用の必要性 	<ul style="list-style-type: none"> 制度利用の必要性は明確か。必要な支援内容が明確か 支援経費内訳の額及び内訳は妥当か

※応募企業がスタートアップ(SU)に該当する場合、当該SUの提案製品/サービスの販売実績がなくとも、主たる要素技術の販売実績がある、又は提案製品・サービスの実証段階を終えていれば可。

**中小企業・SDGs ビジネス支援事業
ビジネス化実証事業 審査基準**

大項目	中項目	評価のポイント
1. 提案製品・技術・サービスの概要 (14点)	<ul style="list-style-type: none"> 製品/サービスの独自性・優位性 販売実績 	<ul style="list-style-type: none"> 製品/サービスは独自性、比較優位性があるか 製品/サービスは、国内外での販売実績があるか(※)
2. ビジネスの概要 (22点)	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスモデルの具体性 リスクと対応策 現地パートナー 	<ul style="list-style-type: none"> お金の流れとサービスの流れがビジネスモデル上明確か、価格設定に妥当性があるか、設定した価格の実現見込みがあるか リスクが認識され、対策が検討されているか 現地パートナー企業が決まっているか
3. ターゲット市場、顧客課題解決 (15点)	<ul style="list-style-type: none"> 対象国選定の理由 ターゲット顧客 ニーズの確からしさ 市場規模 	<ul style="list-style-type: none"> 対象国選定の理由は明確か ターゲット顧客は明確か/選定理由は妥当か、顧客の直面する問題を理解しているか、製品/サービスは、顧客の問題を解決し得るか 一定の市場規模があるか
4. 調査・実証計画の妥当性 (18点)	<ul style="list-style-type: none"> 応募前の準備状況 目標設定・検証計画の妥当性 	<ul style="list-style-type: none"> 応募前に実地による現地調査が実施されているか、顧客から製品/サービスに対する初期的なフィードバックを得ているか 調査完了時になっていたい状態(ゴール)は明確か、調査を通じて検証したい仮説は明確か 実証計画は具体的か。現地関係者(協力組織)から実証活動について協力意向を取り付けているか
5. 対象国の社会・経済への貢献可能性 (12点)	<ul style="list-style-type: none"> SDGs等への合致度 裨益者への便益 多様性への配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 提案ビジネスはSDGsの達成に貢献し得るか、グローバルアジェンダへの合致度(加点要素) どのような裨益者に、どのような便益をもたらすことを目指しているか ジェンダー平等、障がい者、高齢者等のインクルージョンに資するか
6. 企業としての体制・方針 (11点)	<ul style="list-style-type: none"> 経営戦略上の海外展開の位置づけ 人員体制 財務基盤 	<ul style="list-style-type: none"> 提案ビジネスの経営戦略上の位置づけ及び本業との関連が明確か 海外展開を担う人員が配置されているか。業務主任者は海外での業務展開経験を有するか。対象国使用言語での発表が可能か 提案法人は海外展開し得る財務基盤を有するか、地域金融機関連携(加点要素)
7. 制度利用の必要性・妥当性 (8点)	<ul style="list-style-type: none"> 制度利用の必要性 	<ul style="list-style-type: none"> 制度利用の必要性は明確か。必要な支援内容が明確か 支援経費内訳の額及び内訳は妥当か

※応募企業がスタートアップ(SU)に該当する場合で、当該SUの提案製品/サービスの販売実績がなくとも、主たる要素技術の販売実績があれば可。